



(校歌)「尊く高くゆうゆうと
ピヤシリ山よ 東の
空鮮やかにくぎつてる」

と、校歌にうたわれているように、校舎からはまさにピヤシリ山や名寄の街が一望できます。

学校の創設は、明治35年9月、上名寄簡易教育所を礎とし、以後、幾多の校名の変遷を経ています。

名寄小は、開校時に名寄教育の要として位置づけられ、百年余の校史を刻み、今日に至っています。

また、名寄市で古い歴史と輝かしい伝統ある学校として、市民の本校への期待は大きく、敬意をもって受け入れられています。

校舎は、JR名寄駅の北に位置し、市役所、図書館、市民会館、幼稚園など官公庁の建物に隣接し恵まれた環境にあります。

名寄市立名寄小学校

ひびき合い輝く子を目指して



今月から市内小中学校を紹介していきます。
「Airてっし」でも6月6日(月)、13日(月)の午前と午後には放送します。

名寄小の教育目標は、『ひびき合い輝く子』です。子どもたちが「かしこく、やさしく、たくましく」育つよう、学校・保護者・地域が強く連携しています。

名寄小の教育活動の具体的な進め方をご紹介します。

【かしこく】『確かな学びを拓く、子どもが輝く学校』をつくります

- ①自ら学ぶ意欲を育て、学び方の定着を進めます。(T.T指導^{Teacher-Teacher}の場の拡大、教科担任の継続、ノート指導など「学び方の指導」の徹底)
- ②基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図ります。(授業時数の確保、『学力向上プラン』、スツキリタイム・グングンタイムの充実)
- ③読書活動の奨励や家庭学習・学習習慣の確立に努めます。(朝読書・本

読みの日、学年×10分+10分の定着と家庭との連携、指導改善プランの活用)

【やさしく】『共に支え合い、心たがやす学校』をつくります

- ①自己実現を促すきめ細かい生徒指導を推進します。(あいさつ・安全・後始末、教育相談、児童理解の充実と記録累積、校内指導体制の確立)
- ②かわり合い、共に支え合う学級風土を育む学級経営の充実を図ります。(ひびき合う合唱・スクールバンドなどの音楽活動、ノーマスクデーの活用、キャリア教育・環境教育の推進)
- ③豊かな体験を通じた道徳指導の充実を図ります。(奉仕・体験活動の拡大、道徳の時間の充実、心のノート^{ココロノート}の活用)

【たくましく】『かわりあい、ひびき合う学校』をつくります

- ①心と体を育てる健康、体力づくりを推進します。(外遊びの奨励、『体力向上プラン』の具現化、食育の充実、心を磨く清掃活動の徹底)
- ②命を大切にする心を育てる指導の充実を図ります。(性教育の充実、安全マップ更新、避難訓練等危機対応指導の充実)
- ③基本的な生活習慣の定着を図ります。(早寝・早起き・朝ご飯、情報モラル指導、校内外の『名小っ子の約束』の徹底)

このようにして、一步一步が見える・測れる・確かめられる実践の継続を図り、『信頼される、開かれた学校』づくりを進めています。



▲地域ふれあい集会の様子



▲チョコット先生の指導の様子



▲読み聞かせの様子